

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより  
逢いてエ

# 雑報 縄文

いろんな差があるから面白い  
いろんな人がいるから楽しい

No. 627

2022年8月 **夕刊**

編集・発行 鈴木厚正

F266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

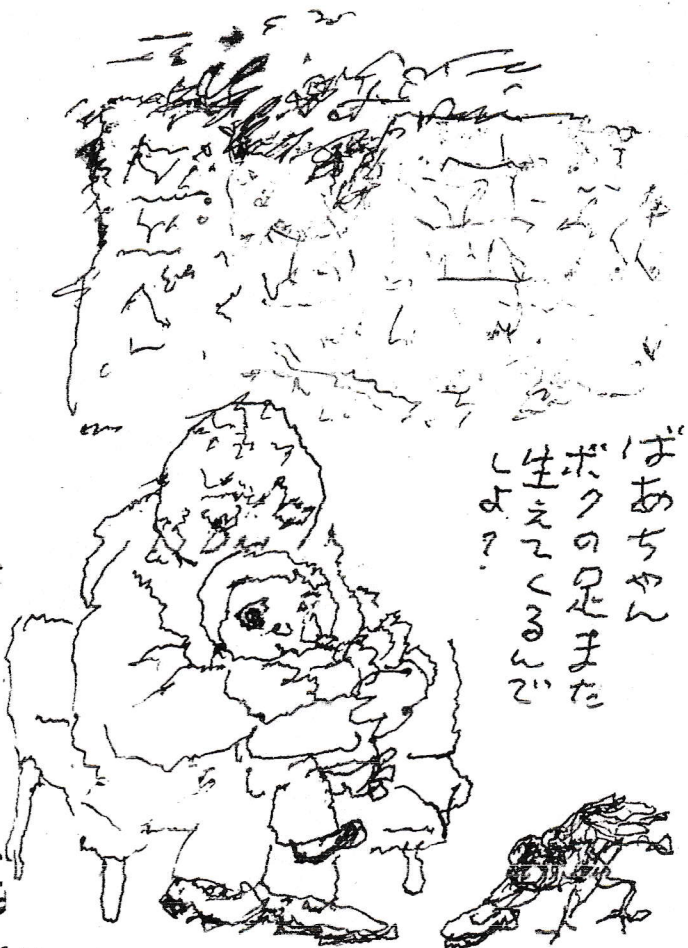
ま・く・じ

- 問題だらけの機能性表示食品 2
- 温暖化と化石燃料考察 8
- 「沖縄の歩み」(前編) 10
- お便利から 14
- 山仕事(6月、大平) 20
- 浜田温泉「四ママ物語」 24
- 覚悟の諫言を傾聴する 25
- ケ・イ・ジ・ばん 26

## 泉ゆきをさん亡くなる

8月4日、三浦海水浴から帰ると、長男から「6月2日に永眠しました」とのVメールが。でも、雑報縄文が続く限り、泉さんは生きておられます。 **合掌**

## 寅次郎の見送り



ばあちゃん  
ボクの足また  
生えこくるんで  
しよ?

(雑報に届いた最後の絵です)

題字 佐村隆

カット: 泉ゆきを: Yukio

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は、Mストーリー。



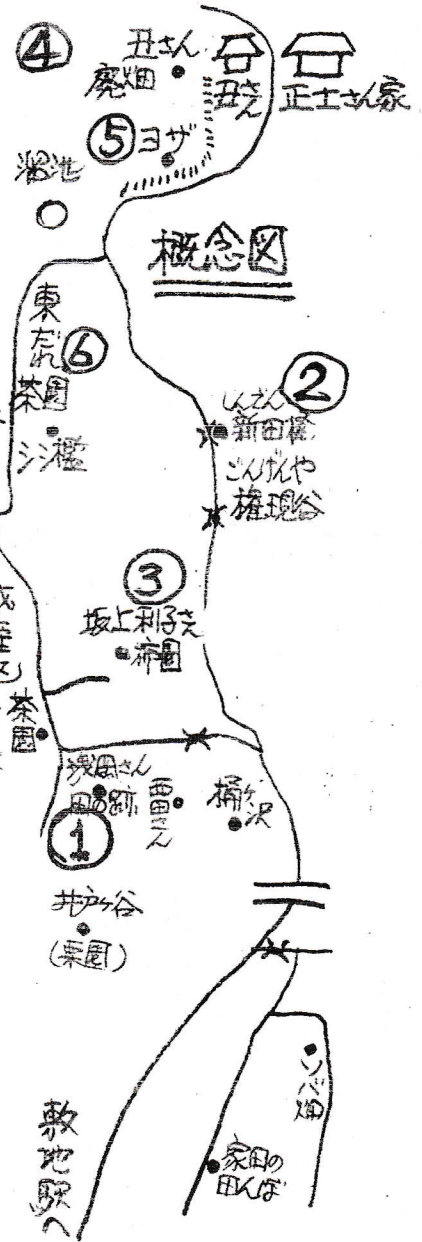
# 山仕事(6月、大平)

6月9日(木)。5:50に家を出るときは小霖雨が降っていたが、丹那トンネルを抜けた静岡側は陽が射していた。

この日、山崎さんは所用で夕刻に。原田さんと二人掛川駅に着くと、天浜線の車内には伊藤康江さんと三宅伊都子さんが先着していた。

敷地駅で鈴木正士、久米さんに迎えられ、古橋直樹さんと「豊岡とれたて元気村」で合流。買物の後、浅岡さんの田んぼ跡①の草刈り。

夕方、美ちゃんと二人で新田(いん)橋②そばの坂上賢一さん(故人)の柿園の草刈り。経営者が亡くなり草ぼうぼうだ。(左、作業前、右、作業後)



その間正士さんは、三宅さんと袴田克臣さんに手伝ってもらって、遅れていたお茶の発送作業。康江さんと久米さんは厨房で調理。作業を終えて戻ると、座敷の中にはまだかなりの量のお茶が残っていた。

夕方、山ちゃんと若林さんが到着。賑やかに夕食が始まる。

(父)佐藤(直)さんから届いた宇都宮は正嗣(まさひ)の餃子、刺身(イカ、ハマチ)、人参と夏ミカのサラダ、シラスと大根おろし、だし巻き玉子、焼きナスと青リと長芋の酢の物、下に田こんにやくとゴボウの煮物に正士さんの手打ちそばを久米さんのだしとみえしでいただく。





今回も沢山のいただきものがあつた。内田美智子さんから、オヤッ、いつものお饅頭ではなくチョコレートとどら焼き、三宅さんから崎陽軒のしうまいと古代米せんべい、袴田さんから和菓子、森町の榊原淑友さんからトウモロコシ「おんかん娘」、浅岡綾子さんから発泡酒とつまみ、坂上賢一さんの娘さんからペット飲料と菓子、古橋さんは蚊取線香など奥用品、そして久米さんからはいつもの野菜に加えて玄米のもみじ饅頭と。康江さんは毎回、山形の大石トラストの納豆を直送してらる朝食に。

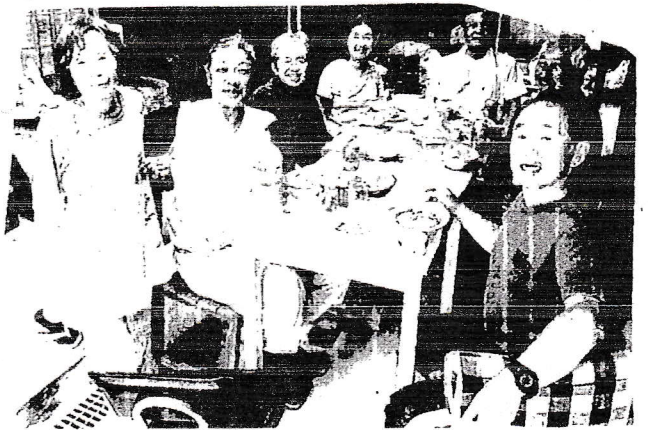
歓談の中で袴田さんが「外郎売」をふくくさリ。ぼくよりさる月先輩だが、立て板に水とびく。あと、若林さんが足をマッサージしてくれました。

6月10日(金)。明け方まで雨音が激しかったが、その後は晴れる。

三宅さんの厨房入りで、この日は久米さんが作業組に参加。午前中は坂上利子さんの柿園と家まわり③の草刈り。

昼食は日差しを避けて屋根の下で。

(昼) 血うどん、野菜サラダに淑友さんからのトウモロコシ。甘さ抜群だとうだが、噛む歯のないぼくは、見ているだけ。このトウモロコシ、



ようにベビーコーンのようなものが付いているのが面白い。

午後は隣の<sup>おし</sup>丑雄さんち裏の高台④の草刈り。昨秋は秋になって硬くなつたススキの株に手を焼いたので、今年は早目に刈ることにした。草丈はけここのみでいるが

楽チンだ。もっともまた生えてくるけどね。

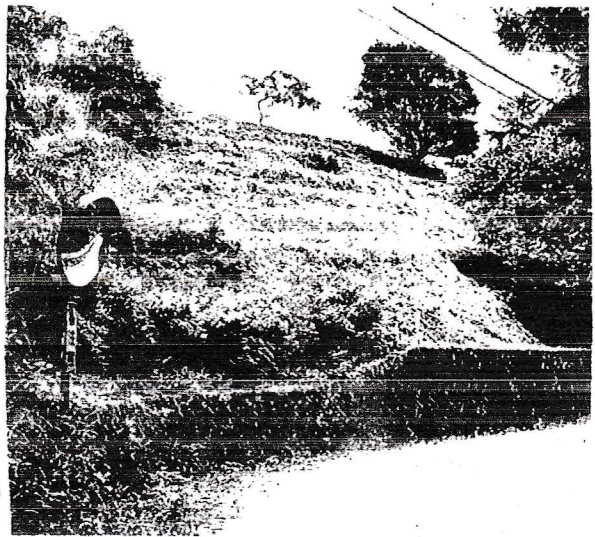




続いて、丑さんの畑跡と隣り合う正士さんちの段々畑跡?のヨザ⑤に移る。  
久米さんの参加で作業がはかどり、東垂れ⑥  
のツツジの整枝も。

正士さんのお茶の発送も終わった。待ちわび  
たファンから催促もあったようだ。

この日、英ちゃんがハチに刺された。ぼくもシャ  
ワーを浴びていて気づいたが、左膝にダコのような  
ものが喰い込んでいた。うっかり流してしまっ  
たので、何だったか不明。



(夕) 麩のチャンプル、アスパラの豚バラ巻、  
枝豆トマトとセロリのサラダ、キャベツのキム  
チ風、崎陽軒のしゅうまい、フキのきんぴら、インゲンのゴマ和之、黒はんぺん、冷奴に  
正士さんの白そば。

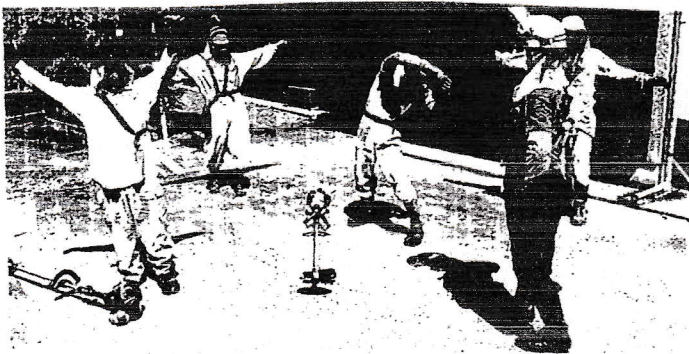
この夜、なんと三宅さんと若林さんが片足ずつマッサージしてくれた。若林さんは力が  
強いので痛い、三宅さんはやさしく。おかげでこの夜は足がツラなかつた。

6月11日(土)。くもり後雨。ぼくはこのところずっと母屋で寝ているが、早朝、新聞を読  
んでいるときに母さんが「お茶どうぞ」と持ってきてくれるのが、3ヵ月ほど絶えていた。それ  
が今朝復活。仏壇にごはんとお水を供えるのも久しぶりだ。近頃は朝顔を合わせるなり、「  
ハア、かんなっちゃった」「何しひからなくなっちゃった」と言われ続けていたので嬉しかった。

雨になり、久しぶりに英ちゃんのケーナに合わせて歌う。

雨がだんだん関東の方に移りつつある。雨につかまる前に帰ろう。いつもより早い天海線  
にのる前、英ちゃんがケーナを吹いていると、それを聞きつけてお母さんがテレビの前を離  
れてそばに寄ってきた。それを見て久米さんが、お母さんも知っている歌があった楽譜  
を持ってきてくれた。思いがけず合唱。

いつもより早く出たのに、島田駅で「  
窓ガラス破損のため2本運休」の放送。  
結局大差ない時刻に帰宅。



←10日朝のバラバラ体操。

(次ページに正士さんのお便利が)



6/9~6/11 にかけて猫の手の活動ありがとうございました。今回も相変わらず余裕がなく、6月に入ってもまだ4月のお茶摘みツアーに参加くださった皆様にお土産茶をお送りできずにいて、草刈りについても5月の末に猫の手の皆様に草を刈っていただいたのですが、また別の場所の草がぼうぼうでパニックになっていたところを助けていただきました。お陰で、私は懸案のお土産茶の発送ができ、猫の手の皆様には何ヶ所かリクエストのあった場所の草刈りをお願いしたところ、何も指示がなくても猫の手の皆様だけで滞りなく草を刈っていただきました。本当に助かりました。

6/9 敷地駅集合、敷地駅で御馴染の皆様と三宅伊都子さんをお迎えし、それに5月に引き続き元気村で古橋直樹さんと合流、元気村と遠鉄ストアで活動期間内の食材の買物、自宅に着き、農作業の準備、そして草刈り作業、浅岡綾子さんの休耕田の草刈、それに亡くなられた坂上賢一さんの新田橋北の柿園の草刈やっていただきました。私は草刈りをパスし三宅伊都子さんと袴田克臣さんにお手伝いを頂き、お茶の発送準備・荷造をしました。伊藤康江さんと久米真弓さんは交流会のお料理を作ってくださいました。

6/10 は午前中、坂上利子さんの柿園の草刈、午後、隣家鈴木丑雄さん宅裏の畑の草刈、それに丑雄さんの畑に隣接した我が家のヨザの段々畑の草刈をやっていただきました。この日は午前・午後とも久米さんが草刈りに参加くださいました。お陰で予定していた仕事が早く進みました。そして厚正さんには晩遅くまで県道、椎の木ヤブのカーブミラーの周りのツツジの枝を切っていただき、枝で邪魔になっていたカーブミラーの見通しが良くなり走りやすくなりました。助かりました。私は引き続きお茶の発送に専念させていただきました。おかげでお茶の発送にもメドが付き、リクエストのあった草刈りも終わりやっと一段落しました

最終日の7/11 は雨模様で、昨日の作業が進んでいたこともあり、原田さんのケーナに合わせみんなで歌を歌ったりしてめったにない休養のひと時を過ごして頂きました。

今回も沢山の皆様から差入をいただきました。亡くなられた坂上賢一さんの娘さんで愛知県豊川市にお住まいのまつ子さんからお〜いお茶1ケースと風月堂のお菓子を、浅岡綾子さんの長男の治通郎さんより発泡酒1ケースと沢山のおつまみを、メダカの榊原淑友さんよりトウモロコシを、内田美智子さんよりどら焼きとチョコレート菓子を、三宅伊都子さんより崎陽軒のシューマイとおせんべいを、袴田克臣さんより森の銘菓森山焼の里を、古橋さんより蚊取線香・石鹼他実用品を、久米さんからはいつものカエシ、ダシ、野菜類に加え広島銘菓のみみじ饅頭を、それぞれ（順不同）頂きました。皆さんのお気遣いに感謝です。

また、今回もパソコンの不調や余分な仕事が先行し、写真をお送りするのが大幅に遅れてしまいました。厚正さんには大変ご迷惑をおかけし申し訳なく思っています。また三宅さんにも写真や厚正さんの縄文の記事が送りできずHPにアップする仕事がストップで誠に申し訳なく思っています。早く処理するよう頑張ります。よろしくお願いします。

令和4年7月28日

鈴木厚正様

23

鈴木正士